

Mémoires 2022

第82回 桜花賞(GI)



混戦で開花した良血の力 スターズオンアース

祖母はG1・6勝のスタセリタ、叔母はオークス馬ソウルスターリング。その底知れぬ潜在能力が、ついに開花した。

注目を集めていたのは、鋭い末脚でチューリップ賞を差し切ったナミュール、2歳女王サークルオブライフ、先行力を武器にファンタジーSを制したウォーターナビレラなど。しかしそんな実績馬たちを下して勝利したのは、1勝馬のスターズオンアースだった。

レースは直線、先行馬と差し馬が入り乱れる大混戦となった。道中2番手から先頭をうかがうウォーターナビレラに、内からフィリーズレビュー2着のナムラクレアが詰め寄る。ピンハイ、パーソナルハイ、そしてスターズオンアースらが迫り、外からはサークルオブライフも伸びてくる。ほとんどひと塊となった競り合いから抜け出したのはスターズオンアース。粘り込むウォーターナビレラを急襲し、最後の1完歩で並んで、捉える。写真判定の結果、9着までが0秒2差にひしめく大混戦をハナ差、制した。

ここまで5戦して勝ったのは未勝利戦のみ。赤松賞はナミュールに完敗の3着、フェアリーSもクイーンCも僅差の2着に泣き、この日は7番人気と伏兵扱いだった。しかし大舞台で、ついにそのポテンシャルが解き放たれた。

管理する高柳瑞樹調教師は、開業12年目でG I 初制覇となった。川田将雅騎手はこれが同馬との初コンビだったが、序盤の行きっぷりの悪さにも慌てず「馬のリズムを重視して」じっと我慢。最後に狭いスペースを突き抜ける瞬発力を引き出した名手は、「彼女の気持ちの強さが、勝ち切ることに繋がってくれました」とパートナーを労い、その勝負根性を讃えたのだった。

第82回桜花賞(GI)

4/10 阪神競馬場 1600m(芝・右・外)晴・良 18頭

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	調教師	タイム/差	人気	通過順位
1	スターズオンアース	牝	3	55	川田 将雅	高柳 瑞樹	1:32.9	⑦	⑩⑨
2	ウォーターナビレラ	牝	3	55	武 豊	武 幸四郎	ハナ	③	②②
3	ナムラクレア	牝	3	55	浜中 豊	長谷川浩大	1/2	⑥	④④
4	サークルオブライフ	牝	3	55	M.デムーロ	国枝 栄	クビ	②	⑬⑬
5	ピンハイ	牝	3	55	高倉 稜	田中 克典	クビ	⑬	⑫⑬
6	パーソナルハイ	牝	3	55	吉田 豊	矢作 芳人	アタマ	⑭	⑧⑨
7	ベルクレスト	牝	3	55	吉田 隼人	須貝 尚介	ハナ	⑨	⑬⑬
8	アールリングウェイ	牝	3	55	藤岡 佑介	藤岡 健一	クビ	⑥	④④
9	サブライムアンセム	牝	3	55	岩田 望来	藤原 英昭	クビ	⑪	⑧⑨
10	ナミュール	牝	3	55	横山 武史	高野 友和	クビ	①	⑬⑫
11	フレサージュリフト	牝	3	55	戸崎 圭太	木村 哲也	1 1/2	④	⑬⑭
12	カフジテトラゴン	牝	3	55	古川 吉洋	武 英智	1 3/4	⑯	⑪⑪
13	クロスマジスティ	牝	3	55	武藤 雅	水野 貴広	1/2	⑮	④⑦
14	フロアブリュート	牝	3	55	C.ルメール	宮田 敬介	アタマ	⑫	⑮⑮
15	アネゴハダ	牝	3	55	幸 英明	佐々木晶三	クビ	⑯	⑩⑦
16	ライラック	牝	3	55	福永 祐一	相沢 郁	1 1/4	⑩	⑮⑭
17	ラスベリウムス	牝	3	55	池添 謙一	林 徹	クビ	⑭	④④
18	ラブリユアアイズ	牝	3	55	坂井 瑠星	黒岩 陽一	1 1/4	⑧	②③

単勝 ⑧1,450円 複勝 ⑧360円 ⑥220円 ①400円 枠連(3-4) 2,550円
馬連 ⑥-⑧3,740円 馬単 ⑧-⑥9,050円 ワイド ⑥-⑧1,250円 ①-⑧2,100円 ①-⑥1,110円
3連複 ①-⑥-⑧11,740円 3連単 ⑧-⑥-①72,700円

ハロンタイム 12.4-10.8-11.4-12.2-12.0-11.1-11.5-11.5
通過タイム 600m⑮34.6-800m⑮46.8-1000m⑮58.8-1200m⑮1:09.9-1400m⑮1:21.4



優勝馬:スターズオンアース

2019.2.27生 牝 黒鹿毛

父:ドゥラメンテ

母:サザンスターズ

母の父:Smart Strike

生産:千歳 社台ファーム

馬主:(有)社台レースホース